

単元名 場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
- (2) 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて想像し、理解したことに基づいて感想や考えをもつことができる。
- (3) 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて想像し、物語を読んだ感想をまとめようとする。

標準的な展開例

03010206_001

【教材名】ちいちゃんのかげおくり (下 P.11～P.28)

【準備等】国語指導CD、戦争に関する本

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 教材文を読み、学習の計画を立てる。</p> <p>★場面の移り変わりを捉えて、感想文を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書(P.11)の扉から、どんな物語なのか予想する。 教師やCDの範読を聞き、初発の感想を書く。 <p>○学習計画を立てる。</p> <p>3～7 場面ごとに出来事や登場人物の気持ちを考えながら読む。</p> <p>★場面ごとの出来事や登場人物の気持ちを読み取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1場面と第4場面の「かげおくり」を比べて、相違点を読み取る。 二つの「かげおくり」の間の出来事や、その間の「ちいちゃん」の状況や気持ちを考える。 第4場面と第5場面の間の出来事を想像し、第5場面がある意味を考える。 第5場面について友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったところを発表する。 <p>8～10 感じたことを文章にまとめ、読み合う。</p> <p>★読んで感じたことを文章にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちや場面の様子を想像し、読んで感じたことを理由とともに書く。 <p>○友達と感想文を読み合う。</p> <p>○感想文を読んだ感想を話し合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> よく晴れた日に実際に「かげおくり」をすると、ちいちゃんの感動を共有でき、児童も関心もちやすい。 表に書き出して比べ、二つの「かげおくり」がどのような「かげおくり」なのかを考え、それぞれの場面のちいちゃんの気持ちを考えさせる。 時や出来事、ちいちゃんの周りから失われたものをノートに整理し、ちいちゃんの気持ちを想像させる。 第5場面があるのとないないのとはどう違うか自分の考えを理由とともにノートに書いて発表させる。 友達の意見を聞いて考えたことを書き留めて発表させ、一人一人の感じ方や考え方には違いがあることに気付かせる。 【評】各場面を読み、出来事や人物の気持ちを考えて話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 教科書(P.27)下段「まとめ方のれい」を参考にさせる。 まず自分が感じたことを短い言葉で表し、次にその理由を書かせる。 【評】理由を明確にして感想を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】登場人物の気持ちや場面の様子から想像し、感じたことを書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 グループごとに読み合い、印象に残った場面は同じでも、一人一人の感じ方や書き方に違いがあることに気付かせる。 考え方の違いや書き方の違いについて話し合わせる。 【評】感想文を読み、一人一人の感じ方の違いについて話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 教科書(P.27)「ふりかえろう」、教科書(P.28)「たいせつ」で学んだことを振り返らせる。 教科書(P.28)「この本、読もう」で関連読書を勧める。

【 備 考 】